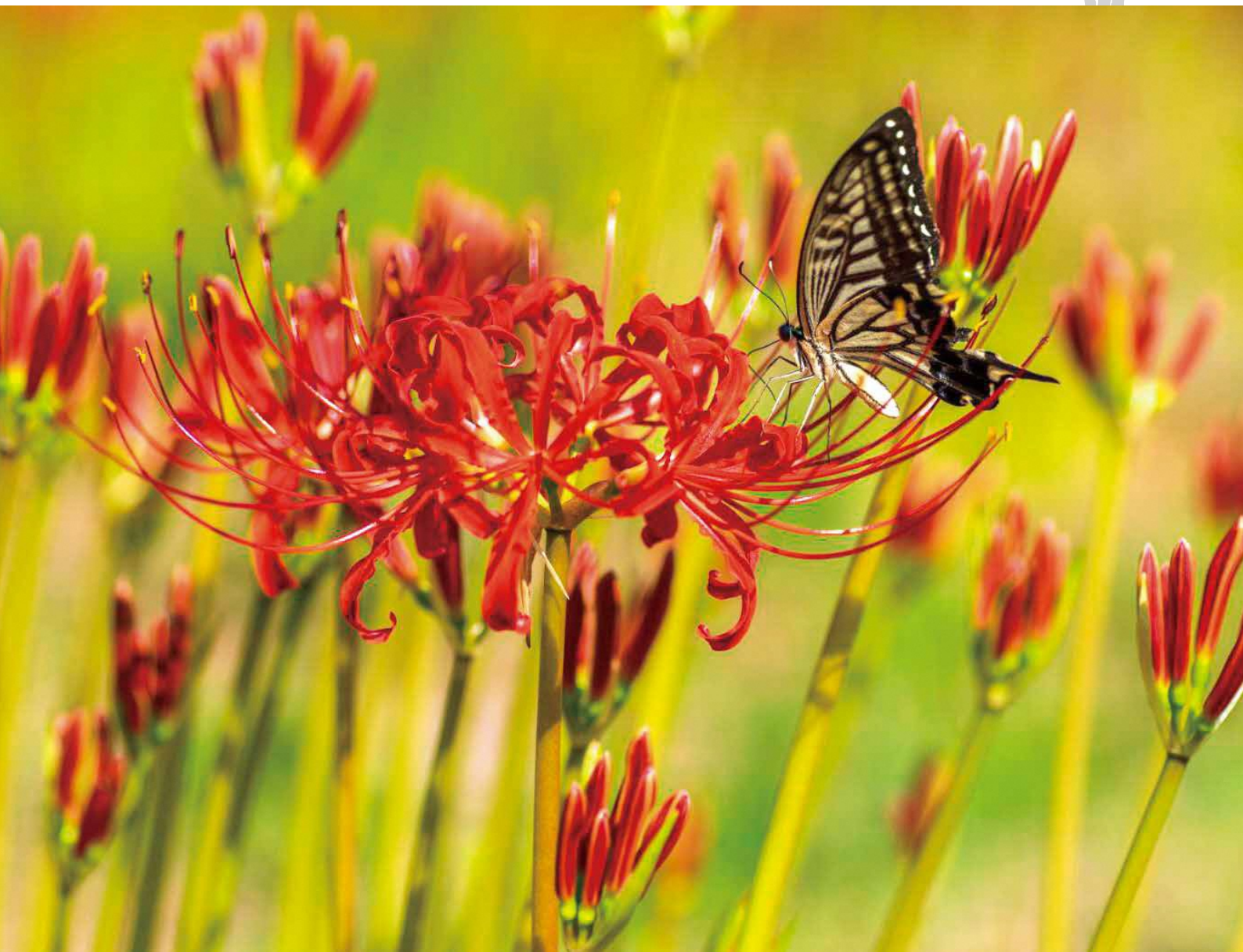


# Kyoto tango

京丹後市議会だより



彼岸花とアゲハ蝶 写真提供：平林さん（峰山町）



## Schedule

- 11月28日 本会議（招集日）
- 12月10日 本会議（一般質問）
- 12月11日 本会議（一般質問）
- 12月12日 本会議（一般質問、議案審査）
- 12月19日 本会議（最終日）



## Photo

令和8年2月発行 議会だより京丹後の表紙写真（発行時期にあった写真）を募集します。

お問い合わせは議会事務局へ

☎ 0772-69-0010

✉ [gikaisomu@city.kyotango.lg.jp](mailto:gikaisomu@city.kyotango.lg.jp)



京丹後市議会

# 都市拠点整備事業予算(補正3号)賛成少数で否決!

6月定例会で継続審査とされた補正3号 都市拠点整備事業予算は、白熱した意見交換・討論の末、予算決算常任委員会で9対9の可否同数となり、委員長裁決で否決。本会議でも多くの意見交換・討論を経て9対10の賛成少数で否決となった。

## — 補正3号 —

都市拠点の候補地をしんざん小南側から大型商業施設前に変更、その用地取得と工事設計委託などを行う。

予算額は4億5826万円 事業総額は約55億円



予定されていた都市拠点候補地

### 本会議 意見交換

- 令和10年の財政見通しで実質公債費比率14.3%、国の指導ラインの18%には余裕があり、この事業計画は持続可能な範囲だ。計画的な先行投資で不健全な借金とは違う。
- 実質公債費比率18%を超えているのは全国で夕張市だけ。健全化の数値だけでは実態は分からない。
- 峰山クリーンセンターの事業規模のめども立たないのに、財政見通しを安直に大丈夫などと言うべきではない。
- 子育て複合施設は財政が厳しくても既存施設の整備でやるようなものではない。最優先の事業だ。
- 6町の均衡を保ったまちづくりというのは20年前の話で、時代は動いている。中心核がないとまちは再生できない。
- 合併当初の理念である「6町の均衡ある発展」は、変わるものではない。そこに生まれて住んでいる人がそこで住みやすいまちにすべきだ。住む人達の暮らしが守られてこそ本市だ。
- これまでの審議会の答申やアンケート、市民の声を聴く会などで市民ニーズは明らか。
- 市民の声を聴く会のアンケートでは、建設すべき・あったらいいという声が63%、反対という声が37%。この都市拠点エリア内では、41%が賛成、それ以外はいらないが45%。見え方は両面ある。
- 本市発足から22年目を迎えて未だに旧町意識が消えない。私たちは京丹後市という1つの自治体としての未来を考えていく必要がある、その第一歩が都市拠点構想だ。
- 都市拠点は市の経済活動や市民生活を支える重要な役割を担う。その候補地は国道312号と482号の商業機能が集約するエリアで、利便性があり他では代わり得ない。
- 今回の構想がダメなら土地はもう見当たらない。簡単には買えない。

- 本市の未来へ向けての歴史的な分岐点になる事業である。第3次総合計画が掲げる多極ネットワーク型コンパクトシティ実現への心臓部であり、その中央拠点を形成する。既存施設の改修では実現できない。
- 財政への懸念は当たらない。実質公債費比率には余裕があり、今後の大型事業を見込んでみれば十分にある。
- この複合施設の整備は、多極ネットワークによる持続可能なまちづくり、こどもまんなか社会の実現、ICT時代の図書館の再構築という3つの柱を同時に推進する。地域経済にも好循環をもたらす。
- 国の目指す「こどもまんなか社会」の実現に込める時宜を得た事業である。
- 単なる箱物ではなく、子育て支援、図書館、保健センターが一体となった重要な複合施設であり、少子化対策へ向けた確かな投資である。
- 本市の将来を大きく左右する事業である。商業区域の中心地に公的施設を整備し、市民生活に相乗的な利便をもたらす。
- 今後一層の人口減少が進む中、現状維持だけでは発展を期することはできない。
- 財政抑制なのか未来への投資なのかが拮抗した議論となった。人口減少が進む中、将来を見通した先行投資が必要だ。それによって若い世代が戻ってくるまちをつくれる。
- 3千筆を超す署名の重みを受け止めなければならぬ。
- 否決となると、将来のこども部の行き先にも影響が出て、行政サービスの停滞も危惧される。

### 本会議 討論



1日こども広場の様子

- 国の目指す「こどもまんなか社会」の実現に込める時宜を得た事業である。
- 単なる箱物ではなく、子育て支援、図書館、保健センターが一体となった重要な複合施設であり、少子化対策へ向けた確かな投資である。
- 本市の将来を大きく左右する事業である。商業区域の中心地に公的施設を整備し、市民生活に相乗的な利便をもたらす。
- 今後一層の人口減少が進む中、現状維持だけでは発展を期することはできない。
- 財政抑制なのか未来への投資なのかが拮抗した議論となった。人口減少が進む中、将来を見通した先行投資が必要だ。それによって若い世代が戻ってくるまちをつくれる。
- 3千筆を超す署名の重みを受け止めなければならぬ。
- 否決となると、将来のこども部の行き先にも影響が出て、行政サービスの停滞も危惧される。



## 反対討論

- 総合的な都市拠点公共施設を目指す基本計画だったが、敷地面積の関係で市民ホールやスポーツ文化関係が削除された。一方で費用は55億円もかかる。基本計画に立ち返り、広く都市拠点エリアの中で再検討すべきだ。
- 財政の裏付けなき巨額の投資は問題だ。聖域なき歳出見直しで身近なサービスを削る一方でランニングコストを含め、180億円を超える事業となる。将来世代に過大な負担を残す可能性が高い。
- 図書館も子育て施設も市民にとっては大切なもの。この議案が否決となっても市はあらためて計画を練り直すべきだ。
- 今回の進め方に大きな問題がある。多くの人が参加して作った当初の計画が大きく変更されたのに、市民の意見聴取は不十分でパブコメもない。
- 65年間で180億円以上の巨額な負担。十分な財政見通しの検証ができていない。今後のゴミ処理場や病院などへの財政的な懸念を持つ。
- 拙速な決定で中途半端なものを作るべきではない。
- 多世代交流型のインクルーシブな複合施設の予定であったが、内容が大幅に削減された。立ち止まるのも英断だ。
- 駐車場も狭く交通量も多い場所だ。図書館整備に指定管理制度の導入を検討とのことだが、危惧の声を多く聞く。
- 一番の懸念は財政だ。今その厳しさから多くの公共施設の修繕ができていないし、地区要望の実現も不十分。この事業のために公共サービス、市民サービスの見直しがなされる。その負担は将来の子ども達にかかる。
- 大幅な計画変更をとまなう55億円の事業を短期間で審査採決せよという今回の提案は、議会軽視と言わざるを得ない。
- この議案は、拮抗した議論の末に予算決算常任委員会会で否決となった。まちづくりについて本質的な課題がいくつも明らかになった。この状態で

の事業認定には無理がある。



峰山図書館

- 都市拠点、新規建設ばかりが整備ではない。既設の建物に併設していくことも可能だ。
- 合併時の約束は、今住んでいる地域に住み続けられること。中央がよくなっても周辺地域がよくならないとは限らない。
- まず中心に言うなら周辺部の皆さんにも安心を提供すべきだ。

【賛成9・反対10で否決】

◆補正3号の否決に伴い、新たに都市拠点公共施設整備検討経費(59万円)が補正5号で他の事業と共に提出されました(総額540万円)。

【全員賛成で可決】

## 令和7年8月2日(土) 市民の声を聴く会開催 参加者アンケート結果

審査の中で、執行部による住民への周知が不十分であったことから、議会として公聴会を開催。

### 肯定的な意見

- 『ここで子育てしたい』『住み続けたい』と思える拠点整備は重要。
- 子どもたちや子育て世代が過ごしやすい地域になれば人口がもっと増える。
- 集客力がある施設になると思うので、他の店舗にもプラスになる。
- 買い物のついでに行けるのはとても便利。
- この場所は、多くの市民にとってアクセスしやすい「交通の結節点」。
- 待ち望んでおり、ここまで引っ張って「今さらできません」では納得できない。

### 反対・慎重派の意見

- ランニングコストが将来の負債となり不安である。
- ゴミ処理施設の建設や既存の学童保育への十分な予算配分など課題がある。市の最優先課題なのか。
- 交通量が多く、子どもの安全や交通渋滞の悪化を懸念。
- 市民へ周知されない事業を進めることに疑問。
- 市民ホールや文化施設がカットされ大変残念。
- 峰山中心のまちづくりにつながる計画で反対。久美浜町や丹後町など、中心部と周辺部の格差がさらに広がる。

# 認定

## 一般会計

歳入総額 439億 818万円

歳出総額 423億 7717万円

の大型事業が進められたことにより、大きく膨らんだ予算の執行が適正であったかどうか確認。財政運営全体と厳正な審査を行った。

### かせぐ

- ふるさと納税 寄附額 23 億円を達成 23 億 3245 万円
- ゼロゼロ融資などの事業者負担を軽減 3113 万円
- 高温対策など営農継続を緊急支援 1741 万円
- 「海業」推進のための共同利用施設を支援 300 万円



ふるさと納税返礼品のカニ



学校給食調理の様子

### はぐくむ

- 網野学校給食センターを整備 16 億 6942 万円
- 中学校トイレ洋式化 1 億 1983 万円
- 定住促進のための奨学金返還支援 4861 万円
- グローバル教育・探究学習を推進 1955 万円

### ささえる

- 市立病院・診療所運営を支援 14 億 5427 万円
- こども家庭センターを設置、産後ケア無償化 644 万円
- 重層的支援体制を全市域へ展開 2463 万円



こども部 窓口対応の様子



整備された網野銚子山古墳

### つなぐ

- 国史跡網野銚子山古墳の環境整備 5400 万円
- 文化芸術によるまちづくり 3577 万円
- 自治体標準化システムへの移行準備 1 億 3642 万円

## 見過ごせない課題に議会が動く

### 市立病院の経営危機

人件費や物価高騰などにより 7 億円を超える経常赤字となり、資金不足比率も 7.78% に悪化。市民の命の砦を守るにも、もはや一自治体の努力で乗り越えられる限界を超えている。

- ➡ 国へ地域医療の確保・充実及び自治体病院経営の安定に向けた診療報酬・財政支援並びに医師等確保施策の強化を求める意見書を提出。(内容は10ページ)

### e バイク事業の低迷

予約システムに 600 万円以上を投じた事業の予約件数が 3 件と、令和 5 年度決算に議会が改善を求める附帯意見をつけたにも関わらず利用実績が悪化。改善努力の欠如であり議会軽視である。

- ➡ 民間事業者へ同システムの責任と権限を移譲し、市の財政支援なしで自立運営と利用促進策を実施するように附帯決議を付した。

# 令和6年度 歳入歳出決算を

決算審査では、物価高騰対策や子育て支援策の拡充、また合併特例債の活用最終年度として、庁舎増築棟等などしては黒字が確保された一方、市立病院の経営など市が直面する課題も明らかになった。議会はこれらに対し

## 物価高騰から暮らしと生業を支援

- 小・中学校 1 食 200 円給食の継続  
5054 万円
- 水道料金（基本料金）の 2 か月分を免除  
4413 万円
- 事業者への利子補給や設備投資支援  
6147 万円
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金  
1 億 9739 万円

## こども部創設 こどもと子育てを支援

- 子育て支援医療費の助成  
1 億 6612 万円
- 放課後児童クラブの運営  
2 億 8761 万円
- 伴走型相談支援、出産・子育て応援給付金  
2594 万円
- 児童手当の支給  
6 億 9226 万円

## 未来の礎となる大型インフラ投資 合併特例債を活用し、基盤整備を加速

- 庁舎増築棟等の整備  
20 億 5034 万円
- 鉄道・バスなど公共交通の維持確保  
5 億 8114 万円
- 山陰近畿自動車道の早期実現に向けた調査  
1 億 472 万円
- 防災インフラの強化（防災無線・消防車両）  
1 億 9423 万円
- 身近な生活インフラの整備（小規模公共事業）  
1 億 4416 万円
- 竹野川衛生センター長寿命化工事  
1648 万円（継続費総額 25.8 億円）

## 大型投資を支えた財源戦略と向き合うべき財政課題

### 【歳入の工夫：戦略的に財源を確保】

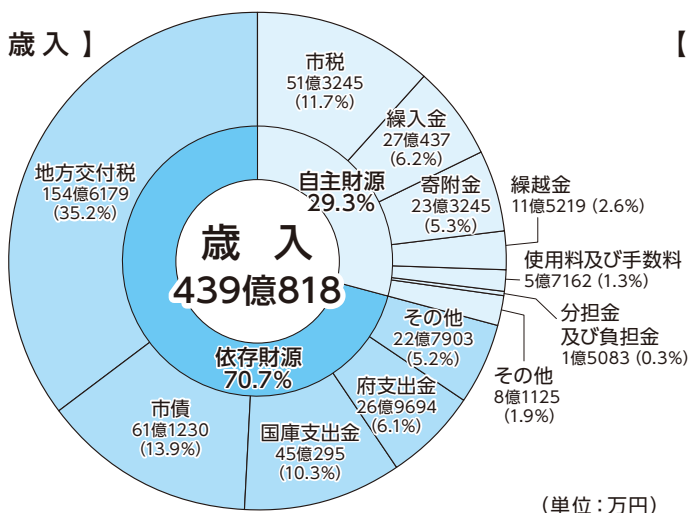
- ふるさと納税の活用  
前年度から 5.2 億円増で過去最高の寄附額を達成
- 合併特例債の最大活用  
有利な起債を活用し市債発行額 約 29.3 億円増
- 国・府からの財源確保  
物価高騰対策（約 9 億円）など外部財源を最大限確保

### 【歳出の課題：厳しく監視すべき財政指標】

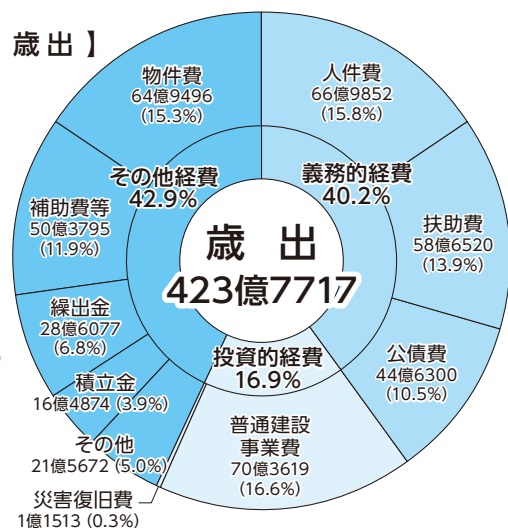
- 経常収支比率：96.4%（昨年度 95.2%）
- 将来負担比率：126.1%（昨年度 113.4%）
- 基金残高：約 85.8 億円（昨年度約 96.2 億円）  
※家計に例えると、自由に使えるお金の割合が減り（経常収支比率）、ローンが増え（将来負担比率）、貯金（基金残高）も減った。

## グラフで見る 一般会計決算（令和6年度）

### 【歳入】



### 【歳出】





# 主な課題と論点

## 総務分科会



公共ライドシェアがスタート

### 人事給与事務《人事課》

- 問** 時間外勤務が前年度より増加している。具体的な要因と今後の改善策は。
- 答** 正規職員の減員や業務の複雑化が主な要因。ノー残業デーの実施や時間外勤務の適正化を進めているが、依然として高止まりしている。
- 問** 新規採用の内定者数や辞退者の状況は。
- 答** 今年度の採用内定者は38名、その内辞退者は13名。併願受験が一般化しており、内定後に他自治体などへ流れるケースがある。内定後のフォローを行うことでつなぎとめを図っているが、競争が厳しい。

### 消防団について《消防本部》

- 問** 消防団組織の再編の方向性は。
- 答** 組織再編、訓練内容の見直しなど団員に無理のない活動環境の整備を進めている。定員見直しの検討もしている。
- 問** 消防団員の負担軽減についてどうか。
- 答** 操法大会のやり方を工夫し、負担軽減を図った。出初式もコロナ禍以降縮小。操法は重要だが競技特化の側面もあり、実務即応の訓練を令和6年度も進めてきた。今後も負担軽減を進めていきたい。

### 新京丹後MaaS共創プロジェクト《政策企画課》

- 問** 実証運行の中で見えてきた課題は。
- 答** 「運行管理」と「運転士の確保・育成」そして「予約の利便性」が課題。
- 問** 高齢者の利用促進に向けた改善策は。
- 答** 一度使うと障壁がなくなるとも考える。まずは試していただく環境を作ることを考えている。
- 問** 高校生のバス通学に支障はなかったか。
- 答** 時刻表や降車場所の条件整備は高校生の通学に対応するよう準備していたが、予約制の周知不足などで思うほど利用が伸びなかった。

## 分科会の主な意見

### ◎人事給与事務

職員体制のひっ迫と人材確保に関する深刻な課題が明らかとなった。令和6年度の職員時間外勤務が前年度より約7千時間増加しており、長時間労働の是正が進んでいない。年次休暇の取得率や女性管理職比率、男性育児休業取得率にも改善が見られず、働き方や組織運営に関する構造的な意識改革と制度の見直しが求められる。また、慢性的な人手不足により業務の属人化が進み、事務処理の正確性や市民サービスの質に影響を及ぼしている。業務の標準化と体制の再構築を早急に進める必要がある。

### ◎消防団について

大規模災害に備えるには、消防団員の確保が不可欠。実団員数と条例定数に乖離があるが、安易に定数を引き下げることは、時期尚早。まずは団員確保の努力を最優先とすべきである。

### ◎新京丹後MaaS共創プロジェクト推進事業

バス路線廃止後のライドシェア実証運行は、利用者が少ないという課題に直面している。その原因は、単なる周知不足だけではなく、予約の煩雑さや運行ルールに分かりづらさにある。同様の公共交通サービスもある中で、より分かりやすく、利用しやすい公共交通体制の構築が求められている。従来の枠組みにとらわれず、市民目線に立った大胆な公共交通の見直しが必要である。

# 主な課題と論点

## 文教厚生分科会



敬老会の様子

### 敬老祝い事業《長寿福祉課》

**問** 以前から事業の補助金について、指摘をしてきたが、検討結果や課題は。

**答** 令和7年度から祝い品単価を引下げた。補助金は令和6年度変更なし。地域振興交付金に位置付け自由度を高める案も含め、現時点で廃止は考えず、単価の見直しなど来年度予算で検討。

### 京丹後市病院事業会計《医療部》

**問** 京丹後市全体の医療体制（公立・民間含む）の現状評価と、不足する診療科や機能は何か。

**答** 内科医の不足が顕著。人口10万人あたりの開業医数は近隣地域より少なく、政策医療としての産婦人科、救急医療、小児科も人員確保が課題となっている。

**問** 病院経営強化プランで設定した目標と実績の乖離の現状は。またそれに対する認識はどうか。

**答** 人事院勧告による人件費の上昇（両病院で約1.6億円影響）と看護師不足などに伴う病床稼働制約が主因でプラン策定時の想定を超える乖離がある。現状ではプラン数値の達成は困難である。国の新たな支援は現時点では不透明。

### 学校施設の長寿命化《教育総務課》

**問** 学校施設の長寿命化の先送りは、後年度の負担増につながる。現時点での考え方は。

**答** 多額の予算を要し、市全体の予算の中で計上できず、現在に至る。耐用年数80年まで延ばす目的で行う。早期に実施したいと考えている。

## 分科会の主な意見

### ◎敬老祝い事業

敬老会の開催は地域事情により異なるが、高齢者が楽しみにしている事業であり、継続が望まれる。地域の今までの経過や文化を尊重し、一律ではなく柔軟に運用すべき。

### ◎発達障害児等早期発見・早期療育支援事業

発達支援相談室については、周知が強化され、相談件数が増えたことは成果である。一方で、専門医療や療育につながるまでの長い待機が大きな課題であり、早期支援の目的を損ねている。府との連携を急ぎ、待機解消に具体的成果を出すことが強く求められる。

## 分科会全体の意見

### ◎病院会計について

市や病院の努力だけでは病院経営は成り立たず、市民を代表する議会として問題意識を示す必要がある。国に対しては、物価・人件費高騰への財政支援と医師不足対策について、実効性のある体制整備を求める意見書を提出する。→ 議会全会一致で国の関係機関などに意見書を提出《内容は10ページ》



# 主な課題と論点

## 産業建設分科会



前年度決算で附帯意見を付けたが、実績は乏しいまま

### 滞在型観光地づくり推進事業《観光振興課》

- 問** eバイクのシステム保守管理の実績（予約件数3件、台数4台）の評価は。
- 答** 結果として進んでいない。利用促進策として二次交通への波及を広め、利用率を高めたい。
- 問** 前年度決算の附帯意見後も状況が変わっていない。附帯意見の受け止めは。
- 答** 重く受け止めたが、成果として反映できていないため、引き続き事業の推進を図る。

### 猪・鹿肉処理施設運営管理事業《農林整備課》

- 問** イノシシ処理の再開見込みと経営影響は。
- 答** 本年度も豚熱が発生し、3年間は持ち込み禁止。イノシシは収益が大きく、停止により収入は減少している。

### 海業推進事業《海業水産課》

- 問** 浅茂川漁港の仮設トイレの検証は。
- 答** 令和6年4月～9月の165日間で、1日に7～10人利用。近隣店舗へのトイレ借用依頼は無くなり効果があった。

### 観光等指定管理施設運営事業《観光振興課》

- 問** 浅茂川温泉静の里は適切な修繕がなされず廃止になった。維持管理は適切だったのか。
- 答** 総合的に安全・快適性を優先し順位付けを実施し、必要最小限で対応してきた。
- 問** 成果に「適切な運営と維持管理を行うことができた」とあるが、課題は。
- 答** 指定管理者施設全般における運営・日常管理を適切に実施したと評価。一方で、市が負担すべき修繕は、全体予算の制約や施設間の優先順位付けの中で十分でなく、反省点がある。

## 分科会の主な意見

### ◎滞在型観光地づくり推進事業

eバイク予約システムについて、令和5年度決算で附帯意見を付けたが、利用が進まず検討中とあり、1年前から何ら変わっていないことは大きな問題である。

### ◎猪・鹿肉処理施設運営管理事業

豚熱の発生によりイノシシの持ち込みが禁止され、収益が大幅に減少している。現場の状況をしっかりと把握し、事業継続のために何らかの打開策を考える必要がある。また、処理施設の新たな建設も今後検討すべき。

## 分科会全体の意見

### ◎観光等指定管理施設運営事業

市は業務水準書に基づく修繕対応が財政的な制約により最小限にとどまり、施設の快適性や安全性が十分に確保されなかった。浅茂川温泉静の里の廃止は、修繕対応や制度設計の課題を象徴するものであった。市が示す、成果・課題の記載内容とも乖離し、説明責任が問われる。さらに、自主事業収益を活用した修繕費制度や備品管理も不十分であり、今後は観光等指定管理施設全体においての計画的かつ優先順位を明確にした修繕対応が求められる。



令和6年度  
一般会計決算審査

## 意見交換

●多くの部署で人手不足が常態化し、時間外勤務が増加している。これは職員の負担増、モチベーション低下、ひいては行政サービスの質に直結する重大な課題である。

●DX推進やRPA（定型業務の自動化）導入に加え、業務の範囲を再定義し行政にしかできない業務に集中すること、民間委託の推進、および若手離職防止やジェンダーギャップ解消に向けた構造的な意識改革と制度の見直しが求められる。

●指定管理者が修繕要望したにも関わらず、市が修繕を怠った結果、浅茂川温泉とプールは施設寿命を全うする前に廃止に至った。公共施設の修繕のあり方について、市の責任が問われる。

●老朽化による維持管理費増加は将来世代への財政負担となる。単に削

減ではなく、地域の暮らしを支える拠点機能をどう再構築するかを全市的な視点で検討する必要がある。

●観光立市として公衆トイレ整備における全市的な方針と維持管理費捻出の仕組みづくりが課題。

●eバイク事業は計画からの乖離が著しく、前回の議会の附帯意見が軽視され遺憾である。

●発達障害児支援では相談件数が増えた一方で、療育・専門医療につながるまでの待機期間が最大10ヶ月長期化し、早期療育の目的を阻害している。

●都市計画などの策定において、中心部への集約の視点だけでなく、現在生活している市民の暮らしをいかに維持し、持続可能にするかという視点を最優先すべき。

## 反対討論

巨額な財政負担と  
将来への懸念

## 将来への懸念

●庁舎増築棟等整備事業は物価高騰により工事費が約1・5倍、実質負担額約9億4千万円増と財政に大きな課題を残した。規模の見直しを行わず進められたことや、今後のさらなる増額の可能性に強い懸念がある。

●大型事業が重なり財政の厳しさが増す中、税金の使い方の優先順位と慎重なチェックを求める。



整備中の丹後王国

## 市民生活・福祉・生業

## 支援の不十分さ

●物価高騰が続く中、市民から「生活が苦しい」との声が多く、水道料金減免などの対策はあるものの、市独自の困窮者支援が不十分。生活弱者に寄り添った姿勢に欠ける。

●訪問介護事業所の経営困難やサービス提供体制の課題に対し、支援策やヘルパー養成などの積極的な対応が不足。

●農業政策が効率化中心で、本市の農地面積の半分を耕作する小規模農家を支える政策が不十分。

事業の妥当性と  
成果への疑問

## 成果への疑問

●丹後王国タワー跡地整備事業（約4・7億円）の大型遊具は、立地や気候条件から集客増への効果に疑問。市民の必要性を感じないとの意見も多い。

●新シルク産業は、投じられた費用に見合う成果とは言い難く、地域経済への寄与が限定的であり、行政関与の継続に疑問。

●eバイク事業は利用が進まず、利用想定乖離から、事業の正当性が問



新シルク産業創造館

堅実な財政運営と  
「稼ぐ力」

●物価高騰や人件費増の厳しい財政環境下で、実質収支8億円超の黒字を確保し、財政健全化指数も基準内に収めた。

●23億円を超えるふるさと納税を達成し、市の「稼ぐ力」を発揮。この貴重な自主財源を、恒常的な経費ではなく、市の魅力向上と未来の価値創造のための投資に重点的な充当を期待する。

## 賛成討論

## 未来への戦略的投資

●こども部を創設し、妊娠からワンストップで支援する切れ目のない体制を確立。産後ケアの無償化や子育て支援医療費助成など、子育て世代に寄り添うソフト政策を推進。

●給食センター整備（16億円超）や中学校トイレ洋式化（1・2億円）など、教育環境改善へのハード投資を着実に実行し、未来への布石を打った。

## 市民生活への支援

●総額約9億円に上る諸物価高騰対策（非課税世帯・子育て世帯・事業者支援など）を実施し、市民生活を守り抜く姿勢を明確に示した。

【賛成15・反対4で認定】

## 補正予算(4号)

5億228万円【全員賛成で可決】

## — 主な補正項目 —

○ 物価高騰対策事業の追加	3680万円
・ プレミアム付きデジタル商品券発行事業	
・ 高齢・障害福祉施設食材費高騰対策支援金	
・ 水道基本料金(1か月)の免除	
○ 地域活性化・物価高騰対策事業費補助金	468万円
○ 訓練交付金	622万円
○ スマート農業・農業支援サービス事業導入補助金	3180万円
○ 基金への積立	1億4578万円
・ 都市拠点整備まちづくり推進基金	
・ 一般廃棄物処理施設整備基金	
・ 観光インフラ整備等促進実行調整費基金	
○ 定額減税補足給付金の追加	1億3086万円
○ 国・府支出返還金	9314万円
○ 峰山大宮mobi運行支援補助金(債務負担行為)	1000万円

令和7年度  
一般会計補正予算

## ◆◆◆ 意見書 ◆◆◆

地域医療の確保・充実及び自治体病院経営の安定に向けた診療報酬・  
財政支援並びに医師等確保施策の強化を求める意見書

本市における地域医療は、市立弥栄病院及び久美浜病院をはじめ、民間病院及び開業医により支えられている。しかし、物価・人件費の高騰、流行期以降の受診行動の変化に伴う患者数減による収益悪化、医師・看護師等の人材不足が重なり、病院経営は極めて厳しい状況にある。特に市立病院では、医師招へいの困難や人件費・物価高騰の影響により経常赤字が発生しており、少子高齢化の進行と相まって本市財政の持続可能性にも大きな影響を及ぼすことになる。

本市の努力のみでは持続可能な医療提供体制の確保は困難である。よって、国会及び政府におかれては、下記の措置を速やかに講じられるよう強く求める。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 診療報酬の抜本的改定の実施     | 4. 看護師等医療従事者の確保・定着支援  |
| 2. 緊急的な財政支援の拡充       | 5. 地域の実態に即した地域医療構想の推進 |
| 3. 医師確保支援及び医師偏在対策の強化 |                       |

## ◆◆◆ 陳 情 ◆◆◆

陳情名	陳情者	結 果
陳情第15号 旧橘小学校跡地利用(デュラクスジャパン株)に関する陳情	有田 光亨	不採択

## ◆◆◆ 政務活動費 ◆◆◆

令和7年度の政務活動費については、上半期の活動を終了しました。交付にあたり提出された交付申請書、調査研究等計画書、調査研究等報告書、実績報告書、その他添付資料につきましてはHP(市議会ホームページ <https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>)からご確認ください。

政務活動費の詳細はこちら▶





# 市政を問う

## 9月定例会 一般質問

一般質問は、令和7年9月17日、18日、19日の日程で行い、14人の議員が質問し、市長などに答弁を求めました。

一般質問とは… 議員が、市政運営全般にわたり、問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めるものです。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市議会ホームページで配信していますのでご覧ください。

パソコンやスマートフォンで議会の  
中継・録画が視聴できます。>>>

京丹後市議会

検索

<https://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/>



- 問** 百歳長寿の市として最新の百寿者率は。
- 市長** 人口10万人平均が245人。全国平均が81人なので約3倍。かなり多い数字。
- 問** 長寿研究を市立弥栄病院と府立医科大などと連携しているが、健康長寿の要因についての見解は。
- 市長** 豆類の植物性タンパク質と腸内フローラに起因するもの。
- 問** 世界長寿サミット開催による効果は。
- 市長** テレビ放映などの露出により国内外で健康長寿のまちとして認知度が向上した。
- 問** 人員不足解消のためシニア層のキャリアを受け入れる考えは。
- 市長** 市立病院の医師を含め職員、市職員の中（特に技師）、教育現場での教師・保育士、
- 問** 公共交通機関の運転手など、市内外から積極的に受け入れる方向。
- 問** 二地域居住でのなりわい（テレワーク）について環境整備は。
- 市長** 市のかぶと山虹の家、ほか民間として14カ所、合計15カ所あり、利活用可能だ。
- 問** 住民票がない居住者への対処方法は。
- 市長** ある程度の住民サービス（子育て分野）、学校においては短期でも受け入れができる区域外就学制度を導入し、実績もある。各地区内において基本はルールの範囲内。
- 問** 国が勧める特定居住促進計画への取り組み状況は。
- 市長** 空き家の活用を中心に本年10月中旬に策定する予定。
- 問** 二地域居住を含め

### 一般質問

市長

経済を含め重要な  
若年層への拡大も

シニア層に特化したまちづくりの推進は



翔和会  
たがのかずひこ  
多賀野一彦

シニア層を中心にしたまちづくりについての見解は。

**市長** シニア層の受け入れは経済も引き連れてくる。本市の特徴である健康長寿と自然環境を生かしたシニア層の受け入れが広がれば人口減少対策にもなる。この流れで若い世代へとつなげていく。

録画配信は  
こちら



世界長寿サミットでの市民公開講座

## 一般質問

## 山陰近畿自動車道延伸に向けたリーダーシップを問う

市長  
総合的なまちづくりとなるよう、市民と展望を描く

政 溪 会

わ だ す け  
和 田 晋

**問** 全線開通に必要な総事業費は。

**市長** 大宮、峰山が160億円。網野、久美浜が2200億円。峰山、網野は調査中。

**問** 「令和10年度代全線開通」を目標に要望を行っているが、実現性はどうか。

**市長** 過去の整備例から令和10年度代完成は現実的で実現可能。

**問** 久美浜インターチェンジについて、現状の予定位置における市民の利便性をどう捉えているのか。

**市長** 久美浜から豊岡市街地へのアクセスは遠回りとなるが、観光や物流、救急、防災など、目的に応じて最適なルートは異なる。

**問** 休憩施設の財源負担の考え方は。

**市長** 整備手法により

財源負担は異なり、本線上では道路管理者、販売店・飲食店は地元自治体が負担することが一般的。一般道沿いの場合は、駐車場のみ管理者負担で他は地元自治体負担、または全てが地元自治体負担となるなど、ケースバイケースである。

**問** 財政負担軽減のため、既存施設をサビースエリア・休憩施設として活用しては。

**市長** 既存施設は計画されているインターチェンジの位置から距離がある。財政負担や経済効果を含め、具体的な整備手法を総合的に検討していく。

**問** サビースエリア・休憩施設が本線上にあると、京丹後市が素通りされる懸念がある。「観光誘客・経済振興」と、

「市民の安心・利便性」を両立させるために、市内に降りてもらう仕組みづくりが必要ではないか。

**市長** 国、府、市民の意見を丁寧に聞きながら、京丹後市が目的地となり、多くの方に滞在いただける周遊観光のまちづくりを戦略として検討を進めていく。



市の負担軽減に既存施設の有効活用を

録画配信はこちら



## 一般質問

## 小中学校200円給食の今後の見通しは

市長  
引き続き継続していきたい

政 溪 会

こ ま き ひろゆき  
小 牧 裕 幸

## 小中学校給食について

**問** 物価や人件費が上昇する中、これまでと同等の給食の提供はなされているか。

**市長** 同水準の提供を行っている。

**問** 食材料費、人件費などが高騰しているが、200円給食の継続が今後も可能か。

**市長** 費用の上昇分もあるが、継続できる。

**問** 国において令和8年度から給食費無償化の報道があるが、通知など届いているか。

**市長** 現時点で届いていない。

## 高齢者の日常の暑さ対策について

**問** 府が以前取り組んでいた、涼やかスポット設置事業の対象施設を拡大し、補助事業として実施の考えは。

**市長** 費用負担のあり方や感染症リスクなどの課題もあり、意見を聞いて検討する。

## 避難所の現状について

**問** 国が令和6年12月に避難所運営指針を改定したが、本市の設置基準の現況は。

**市長** 床面積、トイレの設置基準には達していない。対応は、災害時協定、応援協定先などに協力を依頼、本市として整備に努める。

**問** 指定避難所の小中学校体育館の空調整備を国の補助金を活用し、早期に進めては。

**市長** 必要性和学校施設の長寿命化計画と重ねながら対応する。

## 業務継続化計画（BCP）について

**問** 確実に運用できる



小学校の給食

録画配信はこちら





## 一般質問

高速延伸のまちづくりと  
公共施設管理方針は市長  
市民の意見を聞きながら  
地域づくりを進める政 深 会  
た に つ の ぶ ゆ き  
谷 津 伸 幸

**問** 高速延伸を見据えたまちづくりの必要性や市民参加を促す具体的な方法は。

**市長** 道路開通を最大限に活かすため、都市拠点・地域拠点の整備に向けた地域ごとの構想が必要。市民ワークショップやアンケートに加え、SNSや子育てアプリなど、時代に即した方法で幅広い世代の参画を促す。

**問** 地域資源を活かした土地利用と、民間投資を誘導するための具体的な施策は。

**市長** 自然、農水産物、歴史文化、産業など本市の強みを活かし、地域拠点をネットワークで結び市の魅力を高める。都市機能誘導区域を設定し、企業誘致奨励金、固定資産税の減免、有利な資金調達支援など

を組み合わせ、民間投資を促す。

**地域拠点の機能強化と市民生活の質向上は**

**問** 公共施設の個別管理計画の進捗と財源の裏付け、そして廃止・譲渡の判断基準は。

**市長** 個別施設計画の実施は、地域との調整が必要で計画通りに進まない場合もある。財源は年度目標の進捗に応じて予算化するが、計画掲載時点では裏付けはない。廃止・譲渡は市民ニーズの強さ、公益、将来のまちづくりへの効果と費用を比較して総合的に判断。

**問** 浅茂川温泉とプール  
の事例を踏まえ、適切な維持管理と新規施設整備とのバランスをどう取るべきか。

**市長** 公共施設が多い中

で、維持管理は緊急度を勘案し予算計上している。市として維持が必要な施設は、長寿命化工事によるコスト削減が基本。国庫補助金や過疎債、企業版ふるさと納税などの有利な財源を確保し、老朽化対策と新規整備のバランスを取っていく。



高速道路延伸を見据えたまちづくりが必要

録画配信は  
こちら

## 一般質問

## 今後の消防団組織の再編について考えは

市長  
人や車両の効果的・効率的な再編などを検討中政 深 会  
の り た か  
野 木 教 貴

**脱炭素化と農業強靱化の両立について**

**問** 脱炭素型農業に期待が高まっているが本市での位置づけは。

**市長** 次期の京丹後市生物多様性を育む農業推進計画の中に、新たに脱炭素型農業を位置づけ、具体的な取り組みを推進する。

**問** 地域資源を活用したバイオ炭の導入について、実証実験や普及を推進する考えは。

**市長** 本市ならではの安定的な原料確保・導入コスト・土壌改良効果・農作物の生育への影響などについて検証すべき項目がある。引き続き、幅広く情報収集した上で、実証研究を進めていく。

**問** Jフレジット制度は、環境対策が収益化できる可能性を秘めている。

しかし、制度の十分な周知や理解が進んでいないのでは。制度の仕組みや活用を広く周知する機会創出が必要ではないか。

**市長** 今後、関係機関を含め周知啓発や学習会の開催などについて検討していく。

**持続可能な消防団のあり方について**

**問** 消防団条例に定める人員に対し、現在263人不足。現状の受け止めは。

**市長** 団員確保は極めて重要な課題。確保と定着の取り組み、定員管理のあり方の検討を進め、実効性の高い消防団運営に努める。

**問** 団員確保に向けた具体的な対策は。

録画配信は  
こちら

地域を守る、その一員に。消防団員募集中

## 一般質問

## 新たな観光政策、海水浴場で海床を実施してはどうか

市長  
新たな観光資源として  
検討したい政 深 会  
よしおか まさかず  
吉岡 正一

**問** 海水浴を迎える前の海岸清掃が十分に行き届いていない。そこで「夏の海水浴シーズンを迎える前の海岸清掃」と使い道を明確にしたふるさと納税を実施してはどうか。

**市長** 海岸保全のための財源として、ふるさと納税を活用することは可能。具体的なプロジェクトを立ち上げて寄付募集を行う。

**問** 京丹後市の夏の風物詩として、波打ち際に座敷「海床」を設置したり、海床を安定した状態で海に浮かせて、波の音や浜風を感じながら食事を楽しむ場所を設けてはどうか。

**市長** とても興味を持った。夏の海水浴シーズンだけでなく、春や秋以降と季節ごとに異なる風景を楽しむことがで

きる新たな観光資源として、また観光客の滞在時間の延長にもつながるので、今後は、観光公社や地域の方々と共に検討していく。

## 独居高齢社会の課題

**問** 独居高齢者の、急病や家庭内事故に対する市の対応はどうか。

**市長** 自分の健康は自分でつくり守る、という意識を大切にした環境整備と体制づくりに取り組んでいる。

**問** 緊急・相談通報装置を作動させることができない事態にどう対応するのか。

**市長** 行政だけの対応は困難。家族などによる定期的な安否確認に加え、地域全体で支える自助、共助の取り組みが必要不可欠。

## 熊の市街対応について

**問** 市街地で緊急銃猟を可能とする改正鳥獣保護法管理法が施行されたが今後の対応は。

**市長** 猟友会、警察などの関係機関と協議を図り、制度運用のためのマニュアル整備、市民への説明を行い、有害鳥獣による人的被害の防止に努めていく。



観光政策、新たな観光資源の発掘を

録画配信はこちら



## 一般質問

## 市道へ張り出した樹木の伐採は急務

市長  
道路状況の把握に努め  
計画的に伐採を行う日本共産党  
たなか くにお  
田中 邦生

**問** 丹後王国につながる市道上に樹木が張り出し、自動車に引かかる。市道の管理者として交通安全上放置できないのではないかと。他の市道も調査を実施し、張り出した樹木を伐採して安全を確保する必要がある。

また、地域が自主的に張り出した樹木の伐採を実施し、交通安全確保に取り組んでいる。何らかの支援が必要ではないか。

**市長** 道路パトロールや市民などの通報により樹木の張り出し状況を把握している。市道丹波島津線も予算の範囲内で計画的に伐採を実施している。現地確認をする中で、車道4・5m、歩道2・5mの高さについて交通安全確保に努める。他の路線も

含めパトロールを行い管理する。

地区が行う樹木の伐採への支援について、小規模公共事業などの運用の拡大ができないか引き続き検討する。

## 事前通知なしの日米合同軍事訓練は大問題

**問** 7月に事前連絡なしに日米合同軍事訓練が実施された。文民統制を揺るがせかねない重大事態と考える。

**市長** 今回の事態は決してあってはならないことであるが、いわば連絡ミスによるものと受け止めている。再発防止を求めながら見守る。

**米増産と安定供給へ直接支払制度を**

**問** 米の生産を続けられる生産者米価、消費者が国産米を消費できる



市道にはみ出した樹木の伐採を

録画配信はこちら





## 一般質問

## 国の医療費削減策OTC類似薬の保険外しへの見解は

市長  
保険外しでの自己負担増・  
受診控えは許容できない

日本共産党

はしもと  
橋本まり子

**問** 薬局で処方箋なしに買える市販薬（OTC薬）と似た成分や効果で医師の処方箋がいる「OTC類似薬」を、保険対象から外し、自己負担10割にすることを国が検討している。これが現実になれば、京丹後市の子育て医療をはじめ、大変な自己負担が生じてくる。市民への影響と制度変更への見解は。

**市長** 国保・後期高齢者医療への具体通知はまだだが、国動向の注視・情報収集を継続していく。慢性疾患・高齢者・低所得世帯の負担増、受診・購入抑制による悪化、現場での混乱の懸念がある。受診抑制は長期的に財政圧迫の恐れがあり、物価高の下での追加負担回避を国に強く要請したい。自治体間で連携し、影響

が大きい制度にならないよう国に要請する。

仮に変更する場合でも国の別財源で負担緩和・健康支援を講じ、自治体への負担転嫁は避けるべき。

## 小中体育館空調を急げ

**問** 大型事業が並行するが、国の補助金活用で、小中合わせて3億6千万円ほどの市の負担で可能では。

**教育長** 時期未定だが急務と認識する。長寿命化と同時にまたは切り離し、前倒しも検討。

## 災害級の洪水への影響の把握と積極対応を

**問** 農家の状況把握さらには酒米収穫後、酒造など関連業者への影響調査を継続し、支援制度の周知徹底、高温障害や、渇水対策の恒常的

制度が必要だが。

**市長** 米価は高値傾向で経営への影響は少ない見込み。ただし主食用米への転換で酒米・加工米の生産が減少し価格高騰が予想される。農業用ため池の状況調査を実施の上、ため池のしゅんせつや、さらなる用水の調整ができないかなど、今後、全市的に検証する。



災害級の洪水、府・市の支援でポンプが活躍

録画配信はこちら



## 一般質問

## 放課後児童クラブ支援員の資質向上は

市長  
研修の機会を計画的に  
確保する

日本共産党

ひらばやしちえみ  
平 林智江美

**問** 放課後児童クラブの指導員は、子ども一人ひとりが安心して充実した生活が送れるよう、「安心できる毎日の生活の場」となるよう、支援・援助することが求められる。資質向上のための研修などの取り組みは。

**市長** 研修の機会を計画的に確保することが大切であり、委託先の総合サービス（株）と連携して行っている。

**問** いさなご放課後児童クラブの保護者から送迎バスの待ち時間が長いという声がある。現状の対応や検討状況は。

**市長** バス自体の変更はできないが、待機時間を少しでも短縮できないか、なるべくスムーズな移送を検討している。

**問** 口大野児童クラブは、

168人と登録者が多く、保護者や、指導員のみなさんの要望や課題は把握しているか。

**市長** 現時点では、問題については聞いていない。施設の老朽化で、迅速な修繕が必要になる事態も想定される。

## 特別障害者手当

**問** 精神または身体に著しく重度の障害があり、日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人に支給される手当である。市内の該当者への広報はどのようにされているか。周知漏れはないか。

**市長** 該当者の把握は、障害者手帳を交付する際、広報誌や、ホームページなど複数の媒体で知らせている。



10月に移転したいさなご放課後児童クラブ

録画配信はこちら



## 一般質問

着物離れは着用機会の減少  
だけではないが

市長

現代生活に合った形で  
商品提示の工夫も必要日本共産党  
みなもと しんいち  
源 進一

**問** 着物離れは和装が否定されているからではない。市としての認識はどうか。

**市長** 人口減少ということがある。加えて、行事など、着用の機会の減少などもある。現在の生活にあった着場面、普段着的な商品開発、選択肢が広がる価格帯の提示などの工夫も求められている。現在、インターネット動画サイトでは業界のそうした新たな取り組みも見られる。

グローバル人材育成・  
学生海外派遣事業

**問** 生徒が持つ背景や条件が違って、誰もが挑戦できる機会を得られるように配慮した制度にすべきだ。

**市長** 公平性の観点から一定程度、受益者負

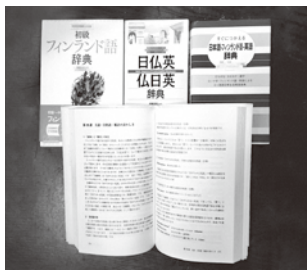
担をお願いする必要がある。誰もが挑戦できる機会の確保として、英語力向上支援ソフトを全生徒の端末に導入して学習環境を整えている。グローバル人材の育成に向け、経済状況や家庭状況、事情に関わらず意欲ある子供たちが等しく、挑戦できる機会を確保することが重要と認識している。他市の事例も参考にしながら補助支援制度の見直しも含め取り組んでいく。

## 災害避難所運営訓練について

**問** 避難所運営訓練は起こりうる事態を想定した形で模擬的に行っているかどうか。

**市長** これまで、訓練については地震・津波などを前提として行っ

きた。市職員、関係機関、市民との連携を中心に、避難所の運営を自主的に取り組んでいけるのが大切だ。職員が避難所にたどり着けないことは想定される。こうした事態では被災住民主体での避難所開設・運営も重要だ。訓練のあり方として、住民の主体性をどう加えていけるのか検討していきたい。



グローバル化時代の外国語学習

録画配信はこちら



## 一般質問

連絡なしの日米合同訓練  
市の見解は

市長

あつてはならないこと  
強く抗議した無会派  
ながい ともあき  
永井友昭

## 立地適正化計画

**問** 何を指すものか。

**市長** 都市拠点、地域拠点へ機能集約し民間事業者も入れて魅力あるまちをつくりたい。

**問** 人口減少の著しい地域に民間事業者が来るのか。

**市長** だからこそこの計画で国の有利な制度を活用して呼びたい。

**問** 計画の中の「居住誘導」周辺から拠点へ移住せよとのことか。

**市長** 拠点での居住の魅力を高めたということだ。

## 小学校水泳授業

**問** 今年の小学校水泳授業は計画通り実施できたのか。

**教育長** 全て予定通り行えた。

**問** 小学生卒業時の泳げる子の比率は。

**教育長** 水から身を守る技術は98%。25m泳げる子は50%弱だ。

**問** 猛暑が続く。市民プールを整備し、年間を通し水泳授業をできるようにすべきでは。

**教育長** プールの老朽化も進む、全天候型の市民プールは有効だと考えるが、財政など課題もある。あり方検討会で審査中だ。

## 米軍・自衛隊

**問** 7月10日の連絡なしの日米合同訓練、防衛局の説明について市の見解は。

**市長** 防衛省内部の事情で連絡ができなかったと謝罪され、再発防止策も示された。厳しく抗議し今後への要請をした。

**問** 3年前の三津の事故の教訓が生かされているか。



発電機の音が聞こえる袖志の棚田

録画配信はこちら





## 一般質問

## 都市拠点構想に係る公共施設計画の課題は何か

市長  
今回の結果を検証し  
今後の議論に生かしていく無会派  
まつもと しやうじ  
松本 聖司

**問** 市長の議会における発言や各種計画などが、予定通り事業化されない時、十分な説明がないことが、市民や議会に対し信頼関係の醸成に影響はないか。

**市長** いくつか例を出されての指摘であり、大切なことと受け止めている。早い報告と適切なタイミングをとらえて取り組んでいく。

**問** 今回の議案で賛否が拮抗した。このことは、合併したまちとして地域を2分することにならないかと危惧しているが。

**市長** 我々のまちにとってマイナスになるような亀裂を生むことになってはいけないし市民が共有すべきこと。

**問** 都市拠点構想と地域拠点は同等と発言されているが、地域拠点構

想はない。総合計画に示されている多極ネットワーク型のまちづくりに対し、市民の信頼が得られていないのではないかと。

**市長** 指摘を真摯に受け止めたい。新たな立地適正化計画の中で6町の地域拠点の姿を示していきたい。

**問** 令和7年度の予算編成で、勧告に基づく人件費の増加が大きく、増額の半分を地方交付税で措置となっている。これは基準財政需要額の範囲を大きく超えており、組織の肥大化ではと考えるが。

**市長** 他団体と比べるとどうか精査しており、次年度以降をどうしていくか検討していく。その上、総務省、内閣官房に対し交付税措置の要望をしている。

**問** 総合計画の地域拠点に係る生活機能の維持をする決意があるかと聞いたが、丹後町間人のスーパースーパー撤退時に具体的な形にできなかったが。

**市長** 関係者と意思の疎通をはかり、市独自の財源も含めて支援すること進めてきたが、民間主導となった。



価値創造が求められる市役所

録画配信はこちら



## 一般質問

自然環境を守り  
生かすまちづくりを市長  
京都府とも連携し  
多角的に進める無会派  
なるみ まさのり  
鳴海 公軌

**問** ワンハンドビーチクリーンやボランティアの方々による海ごみ回収支援を、美しいふるさとづくり条例に基づいて体系化し、より一層の推進をすべき。

**市長** 民間企業や市民の意見をいただきたいながら推進していきたい。ローカルブルーオーシャンビジョンの策定は市民から提案があれば検討したい。

**問** 離湖の水質が著しく悪い。課題認識は。

**市長** 昔より水質が改善されたと考えている。プランクトンの異常発生で、丹後保健所から健康への問題はないと聞いている。

**問** 改善する必要があるとは認識していないのか。

**市長** 長期的な水質の状況も含めて検討する。

管理者である京都府に意見を述べ、対応を求める。

令和14年更新となる新クリーンセンター整備費用が118億円と試算されている

**問** この試算の詳細と物価高騰の影響は。

**市長** 令和4年に当時の建設費単価をもとに試算し、市の実質負担は60億と見込んだ。今ではさらに多額になると予想される。現在基本構想を策定中で、その後具体化する。

既存施設の維持費用として今後40年で、年平均118億円がかかる

**問** 公共施設の見直しが必要。考えは。

**市長** 維持管理費の高騰



離湖の水質悪化で遊泳禁止となった海岸

録画配信はこちら



## 一般質問

健康寿命の延伸には健康づくりの推進が重要では

市長 世界長寿サミットの宣言の成果も取り入れ整えていく

無会派  
さくまひとみ  
佐久間仁美

**問** シニア世代が活躍できる短時間の求人情報などを掲載しては。

**市長** 全戸配布の『シニア向け求人情報』では、8割が勤務日時の相談が可能。広報紙や社協、ジョブナビなどでも配信を行っている。

**問** 地域包括支援センターの現状と課題は。

**市長** 健康や医療、生活相談、介護保険に係る相談が多く、複合的な生活課題のケースが増えている。関係機関との連携を図り体制の維持・強化が重要。

**高齢者の生活支援について**

**問** 外出支援事業のタクシーなどの乗車チケットの販売が購入しやすくないか。

**市長** 長寿福祉課だけでなく、各町の市民局

でも購入可能。申請も簡素に、委任状と申請書が一枚になっている。

**問** 公共ライドシェアの現状と課題は。

**市長** 交通事業者との調整・連携のもとに、徐々に運行区域を広めている。11月からは久美浜町域において実証運行を予定している。面的にカバーできるドアツードア型の運行を拡大していきたいと考えている。

**問** 地域コミュニティ組織に期待する6つの機能の現状は。

**市長** 集いの場づくりや移動支援、地域版ふるさと納税を活用した取り組みなどが広がっている。6町に設置した地域共生ステーションを中心に、きめ細やかな支援に努めていく。

**問** 今年12月2日以降

従来の保険証が使用できなくなるが、代替手段の資格確認書の利用見込みとマイナンバーカード取得支援は。



必要な支援を行う地域の総合相談窓口

録画配信はこちら



## ◆◆◆ 賛否一覧 ◆◆◆

賛否の分かれた案件を記載しています。

会派名	議案の可否	政溪会								日本共産党			翔和会			無会派				
議員名 案 件		谷津 伸幸	池田 恵一	小牧 裕幸	櫻井 祐策	野木 教貴	東田 真希	吉岡 正一	和田 晋	田中 邦生	平林 智江美	橋本 まり子	源 進一	多賀 野一彦	山本 佑太	由利 彰基	佐久間 仁美	永井 友昭	鳴海 公軌	松本 聖司
令和7年度京丹後市一般会計補正予算 (第3号)	否決	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○
令和6年度京丹後市一般会計決算認定に ついて	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度京丹後市後期高齢者医療事業 特別会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
旧橘小学校跡地利用（デュラクスジャパン 株）に関する陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退	×	×

《凡例 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除》中野勝友議員は議長職のため表決権はありません。



令和7年8月8日(金) 丹後町・弥栄町・久美浜町で開催



# 市民と議会の懇談会



- 6月臨時会、6月定例会の概要報告
- 市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

## 懇談テーマ：「災害に強いまちづくり」

懇談会参加者のご意見などを掲載しています。カフェ方式（自由に対話のできるグループ形式）で行い、出された意見や要望は必要に応じて各常任委員会でも所管事務調査をするなどの対応を行います。



丹後町会場

### 丹後町会場

**意** 地区要望が適切に反映・実現されることで、災害時の被害を効果的に抑えることができる。

**意** 防災に対する補助が少なく、さらに補助率も引き下げられ、防災対策が思うように進まない。

**意** 是安川の川床に土が溜まっている。大雨の際心配。

**その他のご意見**

**意** 都市拠点整備事業について  
すべてを峰山に持つていくのか。6町平等であるべき。

**意** 理解はするが、それまでに各地域の整備を行うことが先ではないか。

**意** 計画の不透明性、市民への周知、「都市拠点」と「地域拠点」の連携の明確さや京丹後市の将来像への懸念がある。



**意** 災害時、高齢者の徒歩避難は困難を感じる。空調の必要性を感じているが、完備されている施設がないことが大きな課題。せめて夏場には大型扇風機の配置を検討してほしい。

**意** 避難所での格差が生じており、格差を無くす運営方法を模索すべき。

**その他のご意見**

**意** 都市拠点整備事業について  
用地変更は知らなかった。市民が置き去りになっているのではないか。

**意** 図書館はスケールの大きいのが必要で同時に地域にある図書室もしっかりしてほしい。

**意** 峰山の中心部に複合施設があれば若い人も来る。無料バスがあれば年配者も行く。一方で中心地ばかり栄えて、地域が疎遠になっていく危惧もある。

### 弥栄町会場



久美浜町会場

### 久美浜町会場

**意** 消防団の運営経費が少なく、消防団備品がともに購入できない。

**意** 海浜沿いにある埋設型消火栓が砂に埋まって有事の際に対応ができない。

**意** 要支援者に消防団員が選任されているケースがあるが、発災時は現場に出動することが想定されるため、選任することは適切でない。

**その他のご意見**

**意** 箱石の遊歩道の復旧工事について、地元からは反対の意見もあった。

**意** 都市拠点等整備推進事業に予算を使わず、地区要望などに予算を使っている。

**意** 地域拠点整備の動きはあるのか。

## 議会の調査結果報告

**問** 網野学校給食センターの新設により、敷地が狭くなったが、ドクターヘリに支障はないか。

**答** 引き続き、離発着場として使用可能。

**問** 地区避難所の設置状況は。

**答** 市指定避難所は厳格な基準に基づき設置されるが、地区避難所は自主開設で基準はない。市は危険な場所の利用を避けるよう助言することがある。

**問** 観光客への避難所の周知方法は。

**答** 市のホームページや各種媒体を用いたプッシュ型の発信による情報取得を促している。

◆ 次回開催 ◆  
令和8年2月  
開催予定

皆様のご参加  
お待ちしております

# 市民の声

## 「子供が元気なまち」へ

久美浜町 谷口 潔

久美浜町の谷口潔（70）です。中学まで久美浜で育ち、卒業後は町を離れていましたが、60歳定年を機に西本町区にUターンして現在は自営業をしています。

は、継続的に課題解決をすることが難しいため、新たな地域コミュニティとして久美浜一区自治会（9区、約600世帯）を立ち上げることに取り組みました。

Uターンしてすぐ翌年に副区長1年、その後区長3年勤めました。これは、母親が一人暮らしで長年地域にお世話になっていたことから感謝、それとふるさと久美浜への思いがあったからです。誰かがやらないといけないことなら、私にできることならなんでも引き受けよう」という思いで引き受けました。

自治会は、専任で複数任期の区長会長を置く。地域の3つの組織（区長会、自治振興会、公民館）を統合する。事務局を充実する。そして、初代自治会長を引き受けて6年になります。

区長として地域を見つめる中で、地域の課題が沢山あることがわかり、なんとかしたいといけなという気持ち

まず取り組んだのは、これまでは主に世帯主の意見で事業が進めら

つめる中で、地域の課題が沢山あることがわかり、なんとかしたいといけなという気持ち



投稿者の谷口さん

る。そこで、幼児が雨の日に遊べる場所、小学生が放課後宿題ができる場所、中学生が試験前に友達と勉強できる場所、公園の遊具（ブランコ、鉄棒、バスケット

トゴール、砂場）の設置を行いました。実施にあたっては、区長の負担が増えないよう事務局（現在4人）中心で行い、事務局はボランティアでなく仕事として行うよう手当もしつかり支払うようにしました。



設置された鉄棒に遊ぶ子どもたち



◎ 広報編集委員会

（前列右から）

委員 永井 友昭

委員長 松本 聖司

副委員長 東田 真希

委員 谷津 伸幸

（後列右から）

委員 小牧 裕幸

委員 由利 彰基

委員 源 進一

委員 山本 佑太

## あとがき

9月議会初日の4日、午前中の採決を終え、控室での休憩中のできことです。傍聴に訪れていた子育て中の方が挨拶に見えました。

話の内容は「都市拠点施設の必要性について色々な角度から熱心な議論の現場に立ち会えて、議会のイメージが変わりました。これからも一市民として議会の活動に関心をもっていきたいです」と感謝を伝えていただきました。そこに多くの議員が立ち上がり、拍手をもってお送りしました。

一つの議案に対し、懸命に議論していく姿勢やたゆまぬ議会改革の取り組みが、市民に伝わったのではと午後の本会議場に向かう背筋が伸びたように感じました。

